

先への見通しを作ろう！

茗溪塾塾長 長谷誠基

5月に入り、大分新しい環境にも慣れてきているころだと思います。5月は運動会や修学旅行など学校行事も多く忙しい日々を過ごすと思いますが、うっかりしていると学校の定期試験がもうすぐだということにもなりかねません。先を見通していくことが重要になります。

先日、今年の新しい企画であるGW特訓を小6受験クラス対象に瑞江教室で開催しました。今回の特訓を開いた目的は、閉会式でも話しましたが、この2年間の受験状況を見ると、受験者数も多く実質倍率も上昇する非常に厳しいものになっています。その中で志望校の合格を勝ち取るためには、志望校への意識を早めに持ち、それに向けてスタートを切る必要があるということです。実際の学習でも入試で非常に出題率の高い規則性をテーマにした学習を行い、本物の入試問題にも挑戦しました。今の時期ですので得点は当然あまり高くありませんが、自分たちが向かう入試のレベルを体感するものになったのではないかと思います。特訓の中で行ったテストでは、できなかった単元を1つでも2つでもGW中に克服しようという目標を立てました。参加して下さった生徒たちは、非常に意欲的にそれぞれの学習に参加してくれました。出来具合は正直まだまだだと思いますが、この姿勢を持ちつつ今後も勉強に向かってほしいと思います。

冒頭にも触れましたが、この時期からは非常に忙しくなります。すると、子どもたちは目の前のことに精一杯になり、ただ日々を過ごしていくことになることが多くなってしまいます。しかしそれでは本当の自分の目標に向かったの努力が後回しになってしまうことになります。そうならないためにこの時期に先に向かったの見通しを付けていくことが重要です。塾では5月から夏までの間に様々なイベントを企画しています。まず、各学年対象の説明会が開催されます。この中では、今後のスケジュールを示し、時期ごとに気を付けることを確認します。特に受験生にとっては一番重要な夏休みの過ごし方を提案します。また、受験状況を踏まえて、どんな準備が必要かを知ることできます。これを基にして、個別面談を行いますので、それぞれの生徒ごとの目標設定をし、実行に移していきます。今後は英検・漢検などの検定試験、学校の定期試験、模擬試験なども行われます。それぞれ非常に大切なものなので、もれのないようにしていきましょう。

今後は生徒参加型のイベントも多く組まれていきます。口でいくら話してもなかなか意欲を持ってくれない場合は、そのイベントを通して「気づき」をつくることもできると思います。是非積極的な参加をお待ちしております。